

2012年9月26日

「スパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティ 2012」において 電通はデジタル部門とモバイル部門でグランプリを受賞

— 電通グループはグランプリ2個、金賞8個、銀賞14個、銅賞18個を獲得 —

「スパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティ 2012(Spikes Asia Festival of Creativity 2012)」が、9月16日から18日、シンガポールで開催された。23の国と地域から4,860のエントリー作品があった本年の同フェスティバルにおいて、電通はデジタル部門とモバイル部門でグランプリを受賞した。

同時にデジタル、プロモ&アクティベーション、フィルム、インテグレートッド、デザインの5部門で、計8つの金賞を受賞した。

デジタル部門のグランプリを受賞したのは「CONNECTING LIFELINES」(広告主:本田技研工業株式会社)。モバイル部門のグランプリは「MAKE TV」(広告主:ソニー株式会社)で、クリエイティブ・エージェンシーであるPARTYとの共同受賞となった。

プロモ&アクティベーション部門でも金賞を受賞した「CONNECTING LIFELINES」(広告主:本田技研工業株式会社)のほか、デジタル部門とデザイン部門の2部門で「dots now」(広告主:本田技研工業株式会社)、フィルム部門で「LED 10年カレンダー」(広告主:株式会社東芝)と「寝かせる男」(広告主:株式会社日本レジストリサービス)、インテグレートッド部門で「The Secret Idol」(広告主:江崎グリコ株式会社)が金賞を獲得。また、PARTYと協働した「Magic」(広告主:株式会社メニコン)もデザイン部門で2つの金賞を受賞した。

これら以外にも、電通グループ各社(株)電通、(株)電通 関西支社、(株)電通九州、(株)フロンテッジ、Taproot India Communication Private Limited、Dentsu Philippines Inc.)は合計して8部門で14の銀賞、11部門で18の銅賞を受賞。また、同フェスティバルにおいて行われた「ヤング・スパイクス・エージェンシー・シュート・アウト」では、電通から出場した選抜チームが銅賞に選ばれた。

<スパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティについて>

アジア太平洋地域における高いクリエイティビティを讃えるスパイクス アジア フェスティバル・オブ・クリエイティビティは、カンヌライオンズ、ドバイ・リンクス、ユーロベスト等のライオンズフェスティバルのオーガナイザーならびにキャンペーン・アジアパシフィック誌を発行するヘイマーケット・メディア社(Haymarket Media Limited)の協力によって運営されている。

応募作品はアジアで公開されていることが条件であり、部門はフィルム、プリント、アウトドア、ラジオ、デジタル、ダイレクト、プロモ&アクティベーション、メディア、デザイン、フィルム・クラフト、プリント&ポスタークラフト、インテグレートッド、モバイル、PR、ブランデッド・コンテンツ&エンターテイメント(新設)、クリエイティブ・エフェクティブネス(新設)の全16部門からなる。